

第7回『私の話を聞いてね』

第7回の道徳では、義手の少女が写真投稿サイトに自分の考えを投稿し、“それぞれの違いを認め合う”ということを訴えかけるという話から、「人との違い」について考えました。人にはそれぞれ違いがあるということや、差別やいじめをしてはいけないということを頭では理解していても、世界中には今でも差別やいじめの問題があるのが現実です。差別やいじめがない世界は、誰にとっても住みやすい世界であるはずなのに、なかなかこのような問題は無くなりません。今回の授業では、どうすればみんなが幸せになれるのか、みんなで真剣に考えられたことがとても良かったです。当たり前のことを真剣に考えるのはとても難しいことですが、とても大切なことだとも思います。全ては紹介しきれませんが、たくさんの意見の中から一部を紹介します。

みんなの意見

今日の授業で学んだことや考えたこと

- 人はそれぞれ違うのが当たり前だと思います。それをいじめるのではなく受け入れて、その人の良さを知っていく方がいいと思います。
- みんな個性があって、幸せになるにはそれをわかり合うことが大切だと思った。意見が違っていても、わかり合おうとすることが大切だと思った。
- 一人一人個性があるのがいいと思った。みんな個性が一緒だったら違う意見がなくて面白くないから、今一人一人個性があることで楽しめているのだなと、この勉強を通して分かった。
- みんなが自分と同じことはないから、お互いに違いを認め合っていくことが大切だと思えるようになった。これからは他の考え方なども否定しないようになりたいです。
- 「みんな違って当たり前」と分かっているけど、いじめてしまう人がたくさんいて、いじめられている人もたくさんいる。私は、そういう人にはなりたくないと思った。
- やっぱり差別やいじめはだめだと分かった。その人はなりたくてなっているわけじゃないし、そんなの関係なしに遊んだりした方が、その人もうれしいだろうから、自分はそうしていきたい。

**互いを理解し合うために
大切なことは？**